



白銀

200名の会員、100名のメイト読者を目指そう！

新日本スポーツ連盟神奈川県スキー協議会
横浜市神奈川区神奈川2-14-16トリクビル3F
Tel045-534-5557 Fax045-534-5554
発行責任者:杉田 厚
編集:古屋仁・吉越貴幸・北村理
Email: mail@kanagawaski.org
URL: <https://kanagawaski.org>

奥信濃アルペン2022

神奈川県スキー協議会 事務局長 吉越 貴幸

神奈川スポーツ祭典冬のイベント第二弾、奥信濃アルペン2022が2月19日～20日の日程で、2年ぶりに開催されました。

昨年はコロナ禍のため中止としましたが、感染対策が浸透してきた今、神奈川県スキー協会のアルペンレース熱を再燃させるべくスキーヤースノーボーダーが結集しました。

初日は大回転、急斜面からスタートする本格的なコース、スノーボードの部、女性の部、男性の部の順に滑走します。

全員がアルペンレース初体験のスノーボードメンバーも懸命にチャレンジ！ターンの仕上げに旗門を通過するのが速く滑るコツ。タイム計測前の事前練習OKの奥信濃アルペン、選手の皆さんどんどん上手に！



2日目は回転、コースは初日と同じ急斜面スタート。

レース初心者の方にはちょっと厳しいコースになってしまったので、レース経験者のみでの勝負に。

旗門と旗門の距離は12メートル、次から次に迫り来る華麗にポールを払いのけながらゴールを目指します。

総合優勝はスノーボードの部は中学3年生の荒波 文さん、女性の部は橋下 奈都子さん、男性の部は吉越 貴幸さんでした。



アルペンレースの楽しさを広めるため、より多くの皆さんに参加してもらえよう、工夫をこらして楽しい大会にしていきたいと思います。

志賀高原スキーまつり

悠遊SC 北村 理

2月27日～3月1日に志賀高原にて今年3回目となるスキーまつりを行った。

まん延防止発令中にもかかわらずスキー大好きな23人の仲間が集まった。

昨年中止したので2年ぶりの開催である。

東神奈川を大型バスにて7時頃出発。

予定通りに午後1時過ぎに、今回まつりとして初めてとなるホテル「山楽」に到着した。

さっそく各班に分かれて教室開始。

今回は指導員が少なく、やや生徒数が多い3班構成である。少し視界が悪い中、一ノ瀬を中心に初日を楽しんだ。



2日目は、青空で雲一つない好天の中、焼額山、奥志賀から、元気な班は西館方面まで遠征。標高2000mの山頂付近からは北信五岳、越後や上越方面の山々がくっきりのぞまれた。

3日目も天候に恵まれ、奥志賀まで足を伸ばす元気なグループなど、なごり惜しそうに午前中を滑る。

今回は天気・雪質にも恵まれ、また満90歳を迎えたスキーヤーをお祝いしたり、新会員を迎えることもできた充実したスキーまつりでした。

〜〜

スノーブリーズ行事報告 その1 (妙高ツアー)

スノーブリーズSC 杉田 厚

今3月19日から21日の3連休を妙高高原で企画していましたが、参加できないなどの事情があり、急遽3月12日～13日の日程で同じ妙高高原を組みました。

宿はもちろん杉屋。参加は石川さん、今井さん、杉田の3人でした。

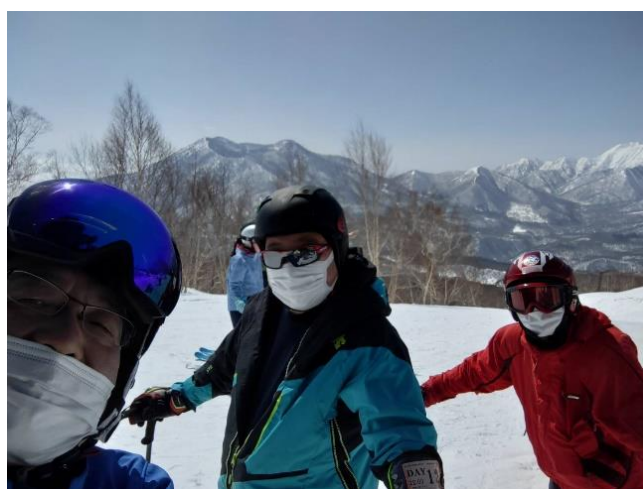
1日目は異様に暑いぐらいの天気。

杉田はミドルレイヤーで滑りました。暑くなってくると雪質がアウト。10時30分ころから2高ゲレンデは板がつかえつかえで滑りにくいこと。

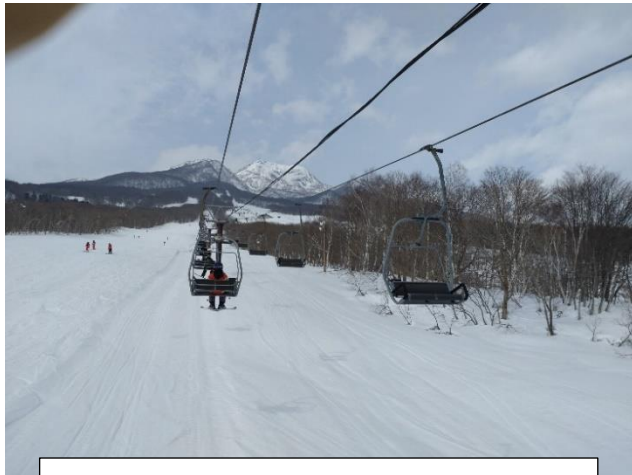
ただ、午後から冷えてきて割合スムーズに滑れました。

昼食はいつもの「サンアントン」で、いつもの「豚生姜焼き定食」。ボリューム感半端ない！！

今回おニューの板だった今井ちゃんと杉田。



杉野沢山頂で！バックは黒姫山



池の平スキー場からの妙高山

具合を聞いて見ると「滑りやすい」「扱いやすい」「切り替えてでトップが雪面に食い込んでいく」などなど好感触でした。2年落ちらしいけど満足な板でした。

2日目は、池の平スキー場に遠征しました。

40年ほど前に滑ったつきりなので、緩斜面というおぼろげな記憶しかなかったのですが、行ってみると急斜面ではないけど中斜面が4キロほど続いてやはりハードでした。

石川さんは2日間とも付き合っていただき、とても81歳とは思えない元気でした。

次週は総勢8名での妙高高原スキー。後編をお楽しみに。

スノーブリーズ行事報告 その2 (妙高/アライツアー)

先週に引き続き、20日～21日に杉屋さんベースでアライリゾートスキー場と妙高杉ノ原スキー場に行ってきました。

参加は、今井ちゃん、なっちゃん、ねこさん、井田っち、羽鳥さん、杉田の常連に加えて今回が初行事参加の金内さん、ゲストの荒木さんの総勢8人でした。

初日は、アライの鬼割チケットをなっちゃんが持っていたので、消費すべしとアライリゾートに。ところがこのところの気候温暖により新雪はハナから諦めていたけど、コース上も荒れた雪質で滑りにくいこと。“足が痛い～”“モモが痛い～”とひーひー言いながらようやく麓まで到着し昼食タイム。これも大変だった。

何でかって？アライスキー場は上客狙いのスキー場、ゲレ食なんて提供する場所が少ない。レストランはあるけど多くは夕方5時からオープン、おまけに高いということで、ベースのゴンドラセンター・ホテル内をうろうろしてようやく席が取れました。

午後は下部のリフトが中斜面で練習に良いのでは、とそこで数本滑って“明日のための足慣らしじゃ”と心の中で呟いて終了しました。



杉ノ原第3高速リフトを降りて山頂で。



到着した直後から始まりました、宴会が！

そして夜はお待ちかねの杉屋の美味しい夕食と交流会（飲み会）。

今年はなっちゃんと杉っちのお誕生会も盛大に開催されました(1月の八重田さんマスターズ総合優勝祝勝会で味を占めてしまった)。

2日目は杉ノ原スキー場に。ただ残念なことに20日で宿近くのロマンスリフトが終了してしまい、ゴンドラまで車移動になってしまったこと。

スキー場も経営改善・効率化で大変だけど、ここ数年で一番近いリフトの撤去、民宿街連絡バスの廃止と

だんだんお客さんを遠ざけるような経営が大変気になっています。

このまま行ったらスキー場そのものが廃止になるんじゃないかと。で、半日でしたが、杉ノ原の広いゲレン

デのほぼすべてを滑りまくりました。

昨日とうって変わって天気も良くて、滑りながら自然と笑っちゃうスキーでした。

~~~~~

### 新規入会員の紹介

SGRT 齋藤 翔平

(①入会した経緯は?②入会した動機は?)

ミサキさん (2021-22 シーズン加入)

- ① 5年前のSGRT主催のBBQに参加し、齋藤翔平さんと飲み友達になってSGRTのイベント(さかえ倶楽部)に参加したのがきっかけです。
- ② スノボは未経験でしたが、皆さんが手取り足取り丁寧に教えてくれて、毎回飲み会も楽しく仲良くしてもらったので加入しようと思いました。



アンズさん (2021-22 シーズン加入)

- ① スキー祭典に長年参加していることが大きな理由です。何度か大会にも参加させていただいて、これからはSGRTのイベントに沢山参加したいと思ったので入会しました。
- ② SGRTのメンバーはみんなフレンドリーで、楽しそうだから。また、スキーのメンテナンスも教えていただきたいし、上達したいから入会しました。



~~~~~

2021~22シーズン 各クラブ行事予定

4月16日~17日	スノーブリーズ	かぐら田代スキー	かぐら田代「ゆたかや」
4月29日~5月1日	スノーブリーズ	ぼかぼかキャンプ	野沢温泉「山ぼうし」
GW	DSSC	クラブ春スキー	志賀高原
4/29~5/1	SGRT	ぼかキャン	野沢温泉「河竹」

◆編集後記◆

「日本鋼索交通協会によると、リフトなどがある全国のスキー場は今年1月時点で計437か所。新型コロナウイルスの感染拡大が始まった2年前から営業休止が相次ぎ、北海道、長野、岐阜などで計30か所が休業・廃業した。総数もピーク時の1999年(698か所)の3分の2以下まで減り、同協会の担当者は『少雪やスキー人口の減少に、コロナ禍が追い打ちをかけている』と語る。」というニュース記事がありました。

先シーズン、戸狩温泉スキー場では「戸狩温泉スキー場をたすけてくださいプラン」を2月中旬から3月初旬の期間で行いましたが、3月末まで延長し実施しましたが、今シーズンはオリオンゲレンデをイベントゲレンデに変更し、ペガサスゲレンデととん平ゲレンデに縮小しての営業となっていました。

今シーズンは志賀高原をはじめ、北信地域のスキー場を中心に滑りに行きましたが、どのスキー場もリフト待ちは無し。日曜日の午後は、ゲレンデに人がまばらにしかいない状況でした。

来シーズン、今年と同じ数のスキー場がオープンすることを願うしかない、今日この頃です。

(ふ)